

▶ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所市場第二部
公告の方法	日本経済新聞に掲載
証券コード	7214

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
TEL. 0745(44)1911(代表) FAX. 0745(44)1930
<http://www.gmb.jp>

第48期 年次報告書

平成21年4月1日～平成22年3月31日



TRUST REPORT

グローバルに進展するモータリゼーションとともに

エンジンの円滑な回転を支えるウォーターポンプやファンクラッチ、
テンショナー&アイドラーベアリング。

ハンドル操作、エンジン駆動力を車輪に確実に伝えるユニバーサルジョイント。

快適な乗り心地を支えるサスペンション……

GMBは、日本をはじめ韓国、中国、タイを拠点に、

ドライバーの信頼に応える高品質な自動車部品を生産しています。

そして、それらは世界中の自動車メーカーを通じて、

世界中のドライバーに提供されています。

生産も販売もグローバルに —— それがGMBです。

GMBグループ企業理念

技術革新と新製品開発を通じ、
自動車部品産業のオンリーワン企業として
国際社会に貢献します。

社訓

和
Harmony

株主の皆様へ

TO SHAREHOLDERS

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、第48期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の年次報告書をお届けいたします。

当期の業績について

当期は、米国金融危機後の急速な景気悪化から緩やかな回復基調となり、自動車業界におきましても、世界的に回復する需要に連動する形で生産・収益が改善してきました。このような環境のなか、GMBグループでは、まずは縮小する市場に対応すべく固定費削減など体質強化を推進しました。新車部品市場におきましては、好調な韓国完成車メーカーと回復する欧米の新車需要に牽引される形で先行して韓国子会社の生産・販売が回復しました。補修部品におきましても、米国におきまして大手チェーンストアとの新規取引が開始されるなど販路拡大に努め、他の海外市場でも買い控えや在庫調整も一巡し需要が回復してきました。また、回復する需要のなかにおいても、縮小する過程で効率化した生産・調達の体制を維持することで収益強化に努めました。さらに、韓国ウォンの下落など在外子会社の財務諸表を円換算する際の為替変動による影響も加えた結果、当連結会計年度の連結売上高は29,253百万円（前期比18.0%減）、連結営業利益は576百万円（同1.5%増）、連結経常利益は338百万円（同44.5%減）、連結当期純利益は75百万円（同87.4%減）となりました。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、新興国の経済成長や自動車需要の回復など厳しさもやわらぐなか、素材価格の高騰や為替変動など、当社をとりまく経営環境は、引き続き不安定な状況を予想しております。

このような環境のなか、好調な韓国新車部品市場においては増産対応の設備投資を進め、補修部品市場においては



▶ 代表取締役会長
松岡 信夫



▶ 代表取締役社長
南北 一雄

価格競争力強化のための海外展開を一層スピードアップしていきます。また、需要が縮小するなかで効率化した生産体制の維持と、従来から進める「最適地生産・最適地購買」を目指したグループ拠点展開を推し進め、引き続き新車用と補修部品の両市場における販売強化に取り組む所存であります。

以上により、平成23年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高39,000百万円（前期比33.3%増）、営業利益1,800百万円（同212.4%増）、経常利益1,550百万円（同357.6%増）、当期純利益750百万円（同898.4%増）を計画しております。

株主還元に対する方針について

利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としており、当期の配当金は、年間30円とさせていただきます。また、次期の配当金につきましても同水準を計画しております。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、海外生産拠点の拡充、コスト競争力強化、市場ニーズに応える技術・製品開発体制の強化など、グローバル戦略の展開を図るために有効投資してまいりたいと考えております。

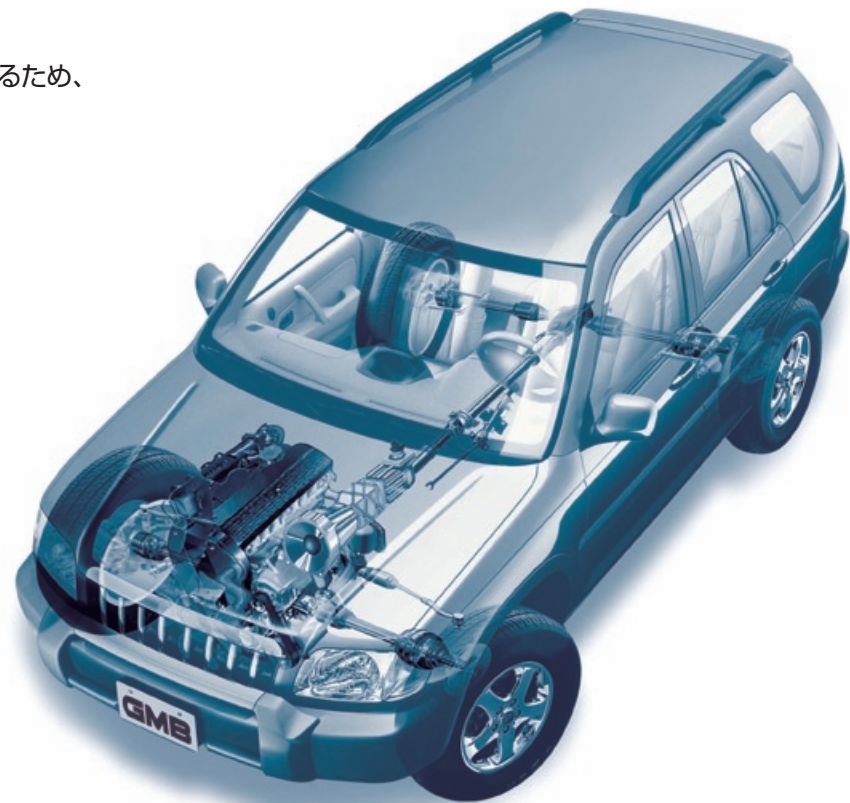
クオリティこそGMBブランドの証です

GMBは、4つの基本理念に基づき、製品設計・製造を行っております。

機能・強度・耐久性など、自動車部品に求められる基本的な品質を保証するため、多年の豊富な経験を踏まえて日々改善・改良に努めています。

基本理念

- HIGH QUALITY PRODUCTS
- QUICK DELIVERY
- COMPETITIVE PRICE
- BEST SERVICE



主な製造部品

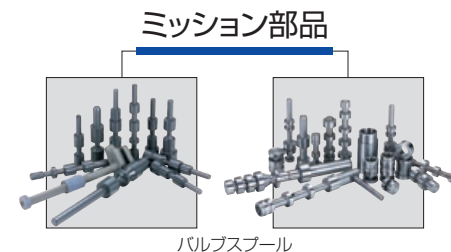
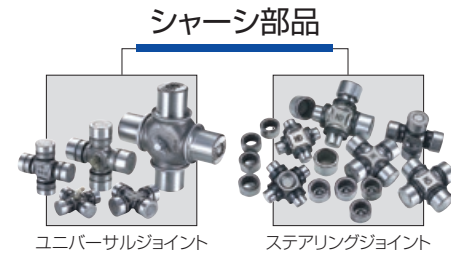
- ユニバーサルジョイント

GMBのユニバーサルジョイントは、小型・軽量化を実現するとともに、高い強度や優れた耐久性によって、安全、確実な動力伝達を可能としています。
- ウォーターポンプ

アルミダイカストやプレスインペラーの採用により、究極の軽量化を達成。さらにベアリング一体化メカニカルシールを社内生産して低トルク構造と、動力損失の少ない高寿命なウォーターポンプを生産しています。
- ステアリングジョイント

ハンドルの操作性を向上させるために、小型・軽量化が図られています。近年、電動パワーステアリングの普及に伴い、剛性の高い製品が要求されています。
- サスペンションパーツ

GMBはタイヤにおいてサスペンションパーツの素材成形から一貫生産しています。



生産工程

GMBは、素材をダイカスト、プレス、切削、研磨などの工程で成形し、その部材を自社で組み立てて製品としています。各工程が、不良品を出さないように厳しく品質管理を続けることで、低コストで、信頼性の高い自動車部品の生産が可能になるのです。



■ **ダイカスト**
ウォーターポンプのボディ&ハウジングを成形します。



■ **プレス**
複雑形状を後加工なしに鍛造成形のみで仕上げるネットシェイプを追求します。



■ **切削/研磨**
NC加工機群によって鋼材を切削、研磨します。



■ **熱処理**
加工後の金属組成を調整します。



■ **組み立て**
社内で生産した信頼の部材を組み立てます。

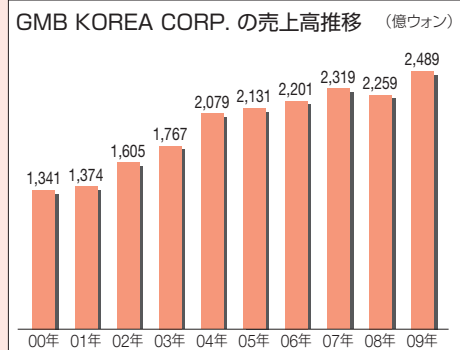


■ **検査**
徹底した品質管理で、クレーム・ゼロを目指します。



関連会社THAI KYOWA GMB CO., LTD. 設立

2009年6月、当社と協和工業株式会社(愛知県)は、タイ国内および海外市場における自動車・各種機械用の部品需要に応えるため、ヨーク・アセンブリーの現地生産を目的とした会社をタイに設立しました。今後、協和工業株式会社の高い冷間鍛造技術を積極的に海外に展開していきます。



韓国子会社が過去最高売上高を更新

GMB KOREA CORP.は、金融危機後もいち早く立ち直り、その後も好調が続く韓国完成車メーカーおよび系列部品メーカーとの取引が順調に推移しました。また、欧州を始め韓国外への販路拡大や新製品の取扱を進め、2009年は過去最高の2,489億ウォンの売上高となりました。(ただし、連結財務諸表においては、換算レートが円高韓国ウォン安となっているため、円価額は減少しました。)

米国にて大手チェーンストアとの取引開始

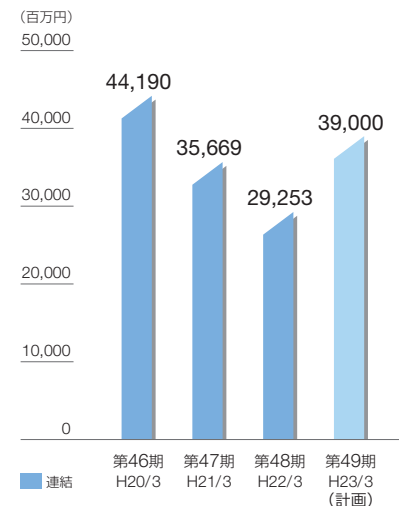
2009年秋、米国において補修用自動車部品の大手小売チェーンである、Advance Auto Parts社に対してウォーターポンプの納入を開始しました。アドバンス社は全米に約3,300店をもつ大手チェーンストアです。近年厳しい価格競争を続ける、米国市場において明るいニュースとなりました。



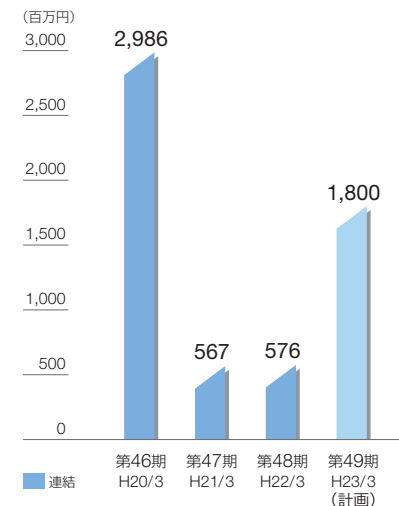
財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

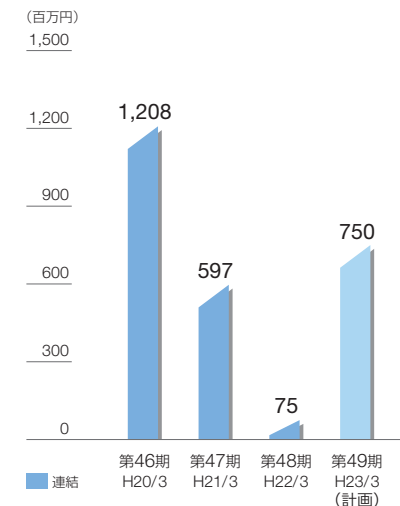
売上高



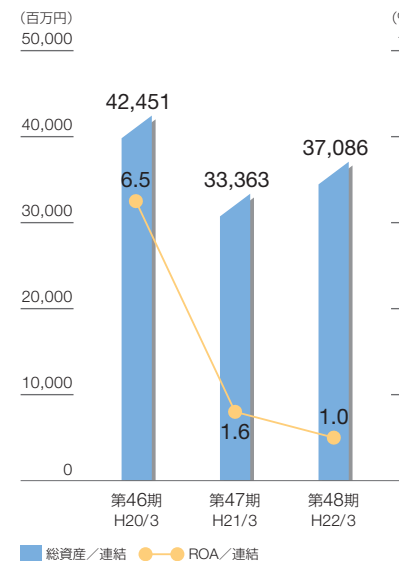
営業利益



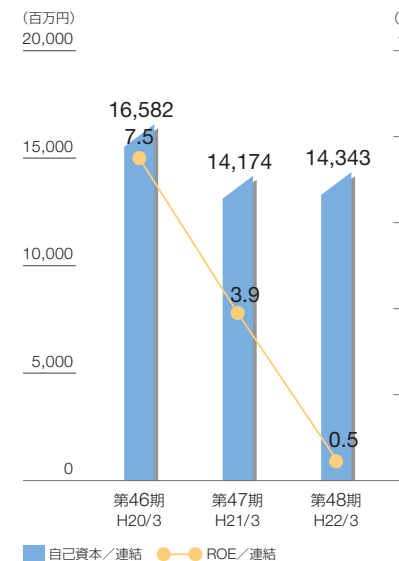
当期純利益



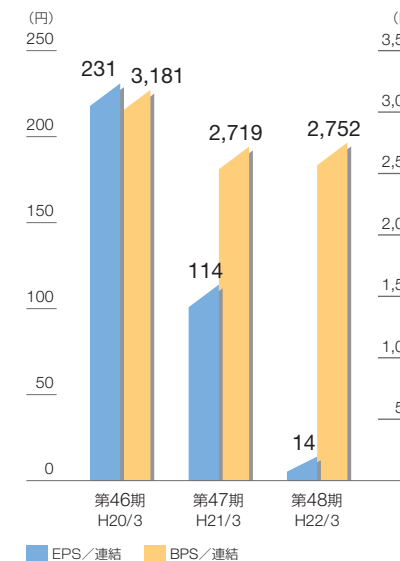
総資産/ROA



自己資本/ROE



EPS/BPS



連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期	前期	科目	当期	前期
	平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在		平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	18,545	15,966	流動負債	14,591	11,050
現金及び預金	4,102	4,602	支払手形及び買掛金	5,203	2,686
受取手形及び売掛金	5,742	4,140	短期借入金	4,511	4,077
たな卸資産	7,831	6,426	1年以内返済予定の長期借入金	2,384	2,309
繰延税金資産	196	105	未払法人税等	41	60
未取還付法人税等	2	120	繰延税金負債	163	169
その他	732	618	賞与引当金	140	149
貸倒引当金	△62	△48	製品保証引当金	171	157
1 固定資産	18,541	17,397	3 関係会社整理損失引当金	75	—
有形固定資産	16,998	16,346	その他	1,898	1,440
建物及び構築物	3,579	3,296	固定負債	5,336	5,303
機械装置及び運搬具	7,084	6,418	社債	500	—
土地	5,404	5,272	長期借入金	2,396	3,221
建設仮勘定	621	975	繰延税金負債	40	42
その他	309	382	退職給付引当金	1,470	1,233
無形固定資産	244	252	役員退職慰労引当金	242	233
のれん	27	54	訴訟損失引当金	81	—
その他	217	197	負ののれん	96	126
投資その他の資産	1,297	799	その他	507	445
3 投資有価証券	711	92	負債合計	19,927	16,354
繰延税金資産	319	354	純資産の部		
その他	305	373	株主資本	15,794	15,884
貸倒引当金	△38	△21	資本金	838	838
資産合計	37,086	33,363	資本剰余金	988	988
			利益剰余金	13,970	14,059
			自己株式	△1	△1
			評価・換算差額等	△1,451	△1,710
			その他有価証券評価差額金	0	△14
			為替換算調整勘定	△1,451	△1,695
			少数株主持分	2,815	2,835
			純資産合計	17,159	17,009
			負債・純資産合計	37,086	33,363

POINT 1 設備投資

当期は、縮小する需要に対応すべく設備投資を圧縮しましたが、下半期以降、先行して回復する韓国新車部品市場に向けた増産投資を進めた結果、総額21億円（前期比約35%減）の設備投資を実施しました。

POINT 2 営業利益は横這い

金融危機後の需要の落ち込みと円高韓国ウォン安の為替換算による影響もあり、大幅な減収となりましたが、前期末から進めた固定費削減の効果もあり、営業利益は前期並みの結果となりました。

POINT 3 中国子会社1社を連結除外

中国生産拠点の再編を目的として、山東吉明美工業有限公司の清算を決議し、連結対象から除外しました。それに伴い、投資有価証券が増加し、見込まれる損失を引当金として計上しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
売上高	29,253	35,669
売上原価	24,427	30,144
売上総利益	4,826	5,524
販売費及び一般管理費	4,249	4,956
2 営業利益	576	567
営業外収益	138	398
営業外費用	376	355
経常利益	338	610
特別利益	70	125
3 特別損失	162	57
税金等調整前当期純利益	246	679
法人税、住民税及び事業税	97	275
法人税等調整額	△55	△453
少数株主利益	129	259
当期純利益	75	597

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,568	2,230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,077	△3,110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66	1,574
現金及び現金同等物に係る換算差額	56	△396
現金及び現金同等物の増減額	△518	298
現金及び現金同等物の期首残高	3,630	3,332
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△244	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,867	3,630

連結株主資本等変動計算書

(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定			評価・換算 差額等合計
平成21年3月31日 残高	838	988	14,059	△1	15,884	△14	△1,695	△1,710	2,835	17,009
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△143		△143					△143
当期純利益			75		75					75
自己株式の取得				△0	△0					△0
その他			△21		△21					△21
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						15	243	259	△20	238
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△89	△0	△89	15	243	259	△20	149
平成22年3月31日 残高	838	988	13,970	△1	15,794	0	△1,451	△1,451	2,815	17,159

ネットワーク

GMB NETWORK

青島吉明美汽车配件有限公司



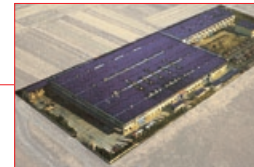
当社及びGMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にバルブスプール・ベアリングの製造をしております。

青島吉明美機械制造有限公司



当社及びGMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にベアリング・ユニバーサルジョイントの部品及び製品の製造をしております。

当社(GMB株式会社)



自動車のエンジン部品であるウォーターポンプ、駆動・伝達及び操縦装置部品であるユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売及び各子会社の製品の販売を主に営んでいるとともに、グループ中核企業として先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に海外補修用市場向けに販売を行っております。

八尾工場



THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.



当社の各製品のうち、主にウォーターポンプ・サスペンションパーツの部品及び製品の製造をしております。また、一部タイ国内販売も手掛けております。

THAI KYOWA GMB CO.,LTD.



2009年に協和工業(株)との合併にて設立した持分法適用会社です(P.5参照)。

GMB KOREA CORP. 第一工場



第二工場



瑞山工場



自動車部品等の各種ベアリング製品、エンジン部品であるファンクラッチ・ウォーターポンプ、駆動・伝達及び操縦装置部品であるバルブスプール・ユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売を営んでいるとともに、当社同様に先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に韓国国内の自動車完成品メーカー及びその系列会社への販売が中心であります。

GMB NORTH AMERICA INC. カリフォルニア倉庫



当社グループ各社の製品を、米国を中心とした北米各国へ補修用部品として販売する販売会社であります。

GMB NORTH AMERICA INC. ニュージャージー本社



会社概要

COMPANY PROFILE

(平成22年3月31日現在)

商号 GMB株式会社
 会社設立 昭和37年5月
 資本金 838,598,000円
 代表者 代表取締役会長 松岡信夫
 代表取締役社長 南北一雄
 従業員数 連結 2,325名 単体 413名
 事業所 本社 奈良工場
 〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
 TEL.(0745)44-1911(代)
 FAX.(0745)44-1930
 Web Site <http://www.gmb.jp>
 八尾工場
 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町2丁目58番地
 TEL.(072)997-1521(代)
 FAX.(072)997-2481
 グループ会社 GMB KOREA CORP.(韓国 慶尚南道昌原市)
 GMB NORTH AMERICA INC.
 (アメリカ ニュージャージー州)
 青島吉明美機械制造有限公司(中国 山東省萊西市)
 青島吉明美汽车配件有限公司(中国 山東省即墨市)
 THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.
 (タイ プラチンブリ県)
 THAI KYOWA GMB CO.,LTD.
 (タイ プラチンブリ県)

役員 (平成22年6月18日現在)
 代表取締役会長 松岡 信夫
 代表取締役社長 南北 一雄
 取締役副社長 阪口 有一
 専務取締役 森 勝
 専務取締役 小菅 清
 常務取締役 金本 現一
 常務取締役 桑村 周二
 常勤監査役 水谷 晃
 監査役 平野 邦男
 監査役 浜本 章

株式の状況

STOCK INFORMATION

(平成22年3月31日現在)

発行可能株式総数 19,000,000株
 発行済株式の総数 5,212,440株
 株主数 2,155名
 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松岡 信夫	1,096,775	21.0
松岡 登志夫	700,350	13.4
松岡 光子	416,375	8.0
松岡 百合子	308,625	5.9
GMB従業員持株会	306,070	5.9
松岡 弘枝	122,500	2.4
飯野 達人	102,900	2.0
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	100,300	1.9
金本 順子	98,750	1.9
野村信託銀行株式会社(信託口)	81,700	1.6

(注)持株比率は、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。

所有者別株式分布状況

